

「おざんざ」復活プロジェクト

このプロジェクトは、2019年7月22日に締結した「国立大学法人信州大学とNEXCO 中日本の包括的連携に関する協定」に基づき、“地域の魅力を発信し、観光振興や地域社会の活性化へつなげる活動”として、大町市のご当地うどん「おざんざ」の復活を目指したものです。

信州大学、NEXCO 中日本グループのほか、梓川 SA(上り)を運営するアルピコ交通株式会社と、その協力者として株式会社クルークダイニング(長野県安曇野市)、有限会社あづみ野食品(長野県安曇野市)、株式会社丸正醸造(長野県松本市)、有限会社池田商店(長野県上水内郡信濃町)の地元企業4社が参画しています。

地元企業が麺などの商品開発を進めるとともに、定期的な打ち合わせの中で、信州大学の持つノウハウを生かし、想定ターゲットやプロモーション戦略の検討も進めました。

また、試作品が完成すると、試食会で、麺やつけダレの味のほか、店舗での商品提供をイメージした付け合わせやアレンジした食べ方などについても様々な意見交換をおこないました。

学生から出された「信州をイメージできるようにしたい。野菜やおやきなどとセットにできないか」「そばと食べ比べができれば良いのではないか」「薬味として、ワサビや味噌、七味などを試したところ、味噌が良かった」などの意見は、レストランの提供メニューに反映されています。

【役割分担】

名称	役割
信州大学	学生による若者のアイデアを活かした商品戦略、プロモーション戦略などの提案
アルピコ交通 クルークダイニング あづみの食品 丸正醸造 池田商店	商品開発、製造、販路の開拓など
NEXCO 中日本 グループ	県内外の多くのお客さまのご利用が見込める高速道路(SA)での販売、情報発信に関することやプロジェクトの調整など

(参考)国立大学法人信州大学とNEXCO 中日本の包括的連携に関する協定(2019年7月22日締結)

1. 目的

本協定は、両者が包括的な連携のもと、双方の資源を有効に活用することにより、教育、学術、技術、産業等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的としています。

2. 連携内容

- (1)教育・人材育成に関すること
- (2)学術研究に関すること
- (3)高速道路の技術の振興に関すること
- (4)地域の観光・産業の振興及び地域社会の活性化への貢献に関すること
- (5)その他両者が必要と認める事項